

山口県母性衛生学会寄稿の手びき

1. 原稿：A4版縦の用紙に作成する。
2. キーワード：原則として日本語で5つ以内とし、用語は医学中央雑誌を参照する。
3. 和文抄録：全ての投稿論文に和文抄録を必要とする。字数は500字以内とする。
4. 図、表、写真：図表はそのまま製版するので質の高い用紙を用意すること。特にカラー写真については留意する。また説明文は和文、欧文のいずれでも良い。
5. 原則として常用漢字とひらがなを使用する。学術用語は日本産科婦人科学会編「産科婦人科用語集・用語解説集（改訂第4版）」および日本医学会編「医学用語辞典」に従うものとする。
6. 単位は国際単位系を使用し、m、cm、ml、dl、kg、g、 μg 、 $^{\circ}\text{C}$ 、mEq/l、mg/dl、などとする。数字は算用数字（1, 2, 3）を用いる。
7. 引用文献：論文に直接関係のあるものにとどめ、本文中では引用部位の右肩に文献番号^{1), 2)}……を付け、本文の最後一括して引用番号順に記載する。
文献の記載方法は以下に従う。
 - 1) 雑誌の場合
著者名（和文はフルネームで、欧文は姓のみをフルスペル、その他はイニシャルのみで、3名まで記し、それ以上の場合は「, 他」, 「, et al」を用いて略記する）。表題（フルタイトルを記載）。雑誌名。発行年（西暦），巻数（号数），頁―頁。
例：1) 佐藤太朗，青木二郎，山田三郎，他. 思春期の月経異常. 母性衛生. 2020, 44 (1), 1-10.
2) Johnson H, Smith EC, Wilson P, et al. Premature labor and infant mortality. Am J Obstet Gynecol. 2019, 159, 65-68.
 - 2) 単行本の場合
編者名. 書名. 発行地, 発行所, 発行年（西暦）.
例：1) 松本一郎編. 受胎調節の実際. 東京, 第一出版, 2015.
2) William J. Family structure and function. Philadelphia, Saunders, 2013.
 - 3) 単行本の一部を引用した場合
著者名. 表題. 編者名. 書名. 発行地, 発行所, 発行年（西暦），頁―頁。
例：1) 松本五郎. 受胎告知. 松本一郎編. 受胎調節の実際. 東京, 第一出版, 2015, 1 - 7.
2) William J. Family structure. Conn ed. Family structure and function. Philadelphia, Saunders, 2013, 1 - 10.
 - 4) インターネットからの引用の場合
著者名. 資料名. サイト名. 出版（又はアップデート）年（月日）. <URL>（資料にアクセスした日）
例：山口花子. 山口医学. 山口医学サイト. 2020. <<http://toukai.jp/tarou.html>>（アクセス：2022年2月15日）
 - 5) 電子雑誌の場合
 - (1) DOI がある学術論文
著者名. 論文名. 誌名. 発行年, 巻（号）, 頁. doi: xx,xxxxxx
例：Johnson H, Smith EC, Wilson P, et al. Title of article. Title of Journal. Year, vol(no), xxxxxx.
doi: xx,xxxxxx
 - (2) DOI のない学術論文
著者名. 論文名. 誌名. 発行年, 巻（号）, 頁. Retrieved from <http://www.xxxxxxx>
例：Johnson H, Smith EC, Wilson P, et al. Title of article. Title of Journal. Year, vol(no), xxx-xxx.
Retrieved from <http://www.xxxxxxx>

6) 電子書籍の場合

(1) DOI がある書籍

著者名. 書籍名. 発行年. doi: xx,xxxxxxx

例: Johnson H, Smith EC, Wilson P, et al. Title of book. Year. doi: xx,xxxxxxx

(2) DOI のない書籍

著者名. 書籍名. 発行年. Retrieved from <http://www.xxxxxxx>

例: Johnson H, Smith EC, Wilson P, et al. Title of book. Year. Retrieved from <http://www.xxxxxxx>

7) 電子書籍の 1 章または一部の場合

(1) DOI がある書籍

著者名. 章のタイトル. 編集者名 (編), 書籍名. 発行年, 頁一頁. 発行所名. doi: xx,xxxxxxx

例: Johnson H, Smith EC, Wilson P, et al. Title of chapter. William J. (Eds.), Title of book . Year, xxx-xxx. doi: xxxxxxx

(2) DOI のない書籍

著者名. 章のタイトル. 編集者名 (編), 書籍名. 発行年, 頁一頁. 発行所名. <http://www.xxxxxxx>

例: Johnson H, Smith EC, Wilson P, et al. Title of chapter. William J. (Eds.), Title of book. Year, xxx-xxx. Retrieved from <http://www.xxxxxxx>

8. 利益相反に関する事項の開示

投稿論文の内容に関し「利益相反に関する規程」に基づき、共著者を含めた全著者の当該論文の利益相反に関する事項について状況を開示しなければならない。開示する際は、引用文献の前に「本論文内容に関連する利益相反事項はない。」または「著者○○○○は△△△△との間に本論文内容に関連する利益相反を有する。」と記載する。

附則

この手びきは平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

改正 平成 26 年 6 月 22 日

改正 令和 4 年 6 月 12 日